モザンビーク国ナカラ回廊農業開発におけるコミュニティレベル開発モデル策定プロジェクト（ProSAVANA-PEM）評価調査における主要な調査結果

1. プロジェクト目標

プロサバンナ事業対象地域の農業開発モデル導入地域で、農家それぞれの営農規模において農業生産、生産性、収入が増加する。（ナンプラ、ザンベジア、ニアッサ州の20郡）

2. プロジェクト期間

2013年5月～2019年5月（6年間）

成果（暫定） 参加農家数：のべ4,800世帯以上

<遠隔地のコミュニティの支援>

農業技術の導入

- ✓ 条植え及び最適密度、間作、輪作、保全型農業
- ✓ トウモロコシ: 1.2t/ha → 1.4t/ha

ジェンダー平等の促進と生計の改善

- ✓ ジェンダー平等：女性の家庭内での意思決定への関与向上のための夫婦間のコミュニケーションの改善等
- ✓ 貯蓄活動：約MZN18,000/グループ/年
- ✓ 栄養改善：15対象コミュニティの73％の農家世帯が自家消費用の作物の種類を多様化

<農民組織活動の促進>

農業機械、資材、技術支援の提供

[野菜生産]

- ✓ メンバーの年間収入が平均33％増加

[養鶏]

- ✓ メンバーの年間収入が平均127％増加

[種子生産]

- ✓ メンバーの年間収入が平均22％増加

<農業協同組合活動の促進>

[製粉事業]

- ✓ 対象農協の年間収入が41 ％増加

<公正な契約農業の促進>

- ✓ 農業分野の企業との契約を行った農家の収入が66％増加

（MZN:モザンビーク通貨）

モザンビーク国ナカラ回廊農業開発におけるコミュニティレベル開発モデル策定プロジェクト(ProSAVANA-PEM)評価調査における主要な調査結果

農民たちの声

技術及びスキルの改善

・「PEMは圃場面積の計測方法、種まきの仕方、収量の予測方法、生産計画の作成方法、収穫の仕方、仲買人の見つけ方、市場価格での販売方法など、多くのことを私達に教えてくれた。」
・「私は生産増を実現することができた。これを可能にしたPEMによる生産技術支援に感謝している。」
・「PEMが始まる前は、私達は限られた小さな面積しか耕作できなかったが、現在は2～3 haのより大きな圃場を耕作できるようになった。」
・「私は種子の増殖方法について学んだ。」

グループ活動及びマーケティング

・「私達がグループで働けば、より多くの生産が可能となり、お互いから学ぶことができる。」
・「私達はグループメンバーの間でどの作物を栽培するかを話し合い、決定した。」
・「私達は市場調査を行う。市場に行き、いつが作物を販売するのに適当な時期か、お店に質問する。お店の人は、今は他の農家も同じ作物を生産・販売しているので、しばらくの間、生産した作物を保管しておくようアドバイスをくれる。」
・「私達は次回は仲買人と交渉したいと考えている。」

ジェンダー平等

・「PEMが始まる前は女性が子供をおぶりながら薪を集めていた。PEMによるジェンダー研修を受けてからは、男女が家事を分担するようになった。」
・「私達は今、貯金の使い方について話し合うようになった。」
・「私は栄養に気を付けて朝食におかゆを作るようになった。」
・「PEMに参加したメンバーだけではなく、周りの人達も女性の負担を分担するようになった。」

生計向上とエンパワーメント（能力強化）

・「収入が増えた。私達は収入が増えた分を生活費に充てることができた。」
・「私は、私達自身の養鶏用鶏舎を持つという夢のために貯金するようになった。」
・「私達は他のグループの活動を視察に行き、新しい学びを得た。私達はこの活動を続け、さらに多くのことを学びたい。」
・「私達は自分達がここまでできるとは思っていなかった。」

- 農家は栽培面積、生産量、品質を増加・向上させる生産技術を学び、活用した。
- 農家と農家グループは自分達の生産物のマーケティング及びビジネス運営の方法を学んだ。
- 農家の収入／利益が増加した。
- 農家は力をつけ、考え方を変えつつある。
- PEMに参加した農家はプロジェクト活動を評価し、継続的な支援を希望した。